

プログラム

10:30～10:35	開会のご挨拶
新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)	
10:35～11:15	一般演題 1 「症状・検査」
座長 佐藤 薫 (福島県立医科大学 麻酔・疼痛緩和科)	
<p>1. 高度肥満患者の鼠径ヘルニア術後に両側の難治性外側大腿皮神経障害をきたした一例 ○矢島 悠太、小山 祐介、小坂 真子、竹中 志保、荒井 麻耶、横尾 千加子、日高 秀邦 (福山市民病院 麻酔科・がんペインクリニック)</p> <p>2. 三叉神経痛の加療中に意識障害と不随意運動を発症した一例 ○山本 夏子、中島 麻衣子、合谷木 徹、木村 哲、新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p> <p>3. 硬膜外ブロック後の膀胱直腸障害で発見された馬尾悪性脊髄腫瘍 ○末永 佑太、伊達 久、伊藤 裕之、唐澤 祐輝、鈴木 陽子、河野 友美 (仙台ペインクリニック)</p> <p>4. 硬膜外鎮痛時に脱力が生じた頸椎症性筋萎縮症の1症例 ○木村 太、工藤 隆司、紺野 真緒、丹羽 英智、中井 希紫子、伊藤 磨矢、廣田 和美 (弘前大学 麻酔科)</p> <p>5. 心理的な負担の程度を把握するための検査 (ストレスチェック制度) ○畑中 浩成、松川 隆 (山梨大学 麻酔科)</p>	
11:20～12:00	一般演題 2 「診断」
座長 窪田 武 (八戸平和病院 麻酔科)	
<p>6. 前医で手根管症候群として加療されていた頸椎ヘルニアの一例 ○鈴木 陽子、伊達 久、伊藤 裕之、唐澤 祐輝、末永 佑太、河野 友美 (仙台ペインクリニック)</p> <p>7. 腹痛が主訴であった脊椎圧迫骨折の2症例 ○飯澤 和恵^{1, 2)}、伊達 久¹⁾、伊藤 裕之¹⁾、唐澤 祐輝¹⁾、河野 友美¹⁾、三浦 皓子¹⁾ (仙台ペインクリニック¹⁾、山形大学医学部附属病院 疼痛緩和内科²⁾)</p> <p>8. 舌咽神経痛の診断の困難さについて ○埜口 千里^{1, 2)}、伊達 久¹⁾ (仙台ペインクリニック¹⁾、総合南東北病院 麻酔科²⁾)</p> <p>9. 上腕二頭筋腱断裂の一症例 ○三浦 皓子¹⁾、藤野 裕¹⁾、伊達 久²⁾ (野蒜ヶ丘痛みのクリニック・整形外科¹⁾、仙台ペインクリニック²⁾)</p> <p>10. 腰椎椎間板ヘルニアのタイプ分類と椎間板加圧注入療法時の漏出と効果の検討 ○伊瀬谷 沙織、大畑 光彦、水間 謙三、新居 正季子、永塚 綾、田村 雄一郎 (岩手医科大学 麻酔学講座)</p>	

12:15～13:15	特別講演 1
<p style="text-align: right;">座長 伊達 久 (仙台ペインクリニック)</p> <p>1. 筋膜リリース注射における超小型 (指サック型) エコープローブの必要性 木村 哲 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p> <p>2. 「学びの共有」による新しい医学教育について考える 鶴沼 篤 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p>	
13:20～14:00	一般演題 3 「治療① 慢性痛に対する薬物療法」
<p style="text-align: right;">座長 川井 康嗣 (仙台ペインクリニック石巻分院)</p> <p>11. ギランバレー症候群後遺症によるしびれ感に対しミロガバリンが有効だった一例 ○小原 伸樹、大石 理江子、中野 裕子、佐藤 薫、黒澤 伸、井上 聡己 (福島県立医科大学 麻酔・疼痛緩和科)</p> <p>12. 18年間継続していたケタミン静脈注射による治療を中止できた一例 ○大石 理江子、中野 裕子、小原 伸樹、佐藤 薫、黒澤 伸、井上 聡己 (福島県立医科大学 麻酔科学講座)</p> <p>13. 腹部大動脈瘤 Y グラフト置換術後の化膿性脊椎・椎間板炎による腰痛に何ができるのか —ブプレノルフィン貼付剤の使用経験— ○飯澤 和恵¹⁾、川前 金幸²⁾ (山形大学医学部附属病院 疼痛緩和内科¹⁾、山形大学医学部 麻酔科科学講座²⁾)</p> <p>14. 血液透析患者の腰椎椎体骨折後疼痛に対して硬膜外ブロック、ブプレノルフィン貼付剤を併用して疼痛緩和を行った一例 ○伊藤 裕之、伊達 久、唐澤 祐輝、末永 佑太、鈴木 陽子、河野 友美 (仙台ペインクリニック)</p> <p>15. ミロガバリン追加投与が奏功した三叉神経痛の一症例 ○高橋 裕也、大畑 光彦、宮田 美智子、山田 直人、鈴木 翼、佐藤 陽香、鈴木 健二 (岩手医科大学 麻酔学講座)</p>	
14:05～14:55	一般演題 4 「治療② 慢性痛に対する神経ブロック」
<p style="text-align: right;">座長 宮澤 一治 (みやざわペインクリニック)</p> <p>16. 尿管癌患者の陰茎痛に対してサドルブロックが奏功した 1 例 ○荒木 俊一¹⁾、鈴木 潤¹⁾、齋藤 秀悠¹⁾、大西 詠子¹⁾、田島 つかさ²⁾、山内 正憲¹⁾ (東北大学病院 麻酔科¹⁾、仙台医療センター 緩和ケア内科²⁾)</p> <p>17. 直腸癌サバイバー慢性痛に対するサドルブロック ○齋藤 秀悠、鈴木 潤、熊谷 道雄、村上 徹、大西 詠子、田島 つかさ、山内 正憲 (東北大学大学院医学系研究科 麻酔科学・周術期医学分野)</p> <p>18. 星状神経節ブロックを行ったファーストバイト症候群 3 症例の検討 ○鈴木 潤¹⁾、荒木 俊一¹⁾、齋藤 秀悠¹⁾、大西 詠子¹⁾、田島 つかさ²⁾、山内 正憲¹⁾ (東北大学病院 麻酔科¹⁾、仙台医療センター 緩和ケア内科²⁾)</p>	

<p>19. 難治性慢性鼠径部痛がトリガーポイント注射と閉鎖神経ブロックにより軽快した一症例 ○山本 夏子、中島 麻衣子、合谷木 徹、木村 哲、新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p> <p>20. 脊髄損傷・胸椎固定後に生じた難治性下腹部痛の診断・治療に神経根パルス高周波が有効だった一例 ○唐澤 祐輝、伊達 久、河野 友美、末永 佑太、鈴木 陽子、伊藤 裕之 (仙台ペインクリニック)</p> <p>21. 8年前からの慢性腰痛に対して仙腸関節ブロックと仙腸関節枝高周波熱凝固法が奏功した一例 ○紺野 真緒、工藤 隆司、久保田 実怜、伊藤 磨矢、木村 太、廣田 和美 (弘前大学医学部附属病院 麻酔科)</p>	
15:00～15:40	一般演題 5「治療③ 慢性痛、術後痛に対する治療」 座長 大畑 光彦 (岩手医科大学 麻酔学講座)
<p>22. 神経根ブロック後も難治性の腰椎神経根症状に対してスプリングカテーテルによる硬膜外癒着剥離術を行い歩行可能となった症例 ○河野 友美、伊達 久、伊藤 裕之、唐澤 祐輝、末永 佑太、鈴木 陽子 (仙台ペインクリニック)</p> <p>23. 超音波装置を用いて診断・治療を行った Intersection syndrome の一例 ○千葉 知史 (あおば・南吉成ペインクリニック)</p> <p>24. 腰部硬膜外ブロックでの 25G 神経ブロック針の使用経験 ○寺田 宏達 (秋桜ペインクリニック)</p> <p>25. 婦人科腹腔鏡手下手術術後痛に対する TAPA(thoraco abdominal nerves through perichondrial approach) ブロックの有用性 ○鶴沼 篤、須永 悟史、根本 晃、合谷木 徹、新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p> <p>26. 持続 ESP(Erector spinae plane)ブロックの試み ○須永 悟史、鶴沼 篤、根本 晃、合谷木 徹、新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)</p>	
15:45～16:45	特別講演 2 座長 新山 幸俊 (秋田大学 麻酔・蘇生・疼痛管理学)
<p>先端医用工学を用いたリハビリテーション機器開発と将来展望</p> <p>島田 洋一 (地方独立行政法人秋田県立療育機構 理事長, 秋田大学名誉教授)</p>	
16:45～16:50	閉会のご挨拶
黒澤 伸 (福島県立医科大学 麻酔科学講座)	